

新型コロナウイルスによる生乳需給への影響を鑑み、直近の飲用等向けの販売状況の推移を中心に毎週発信してまいります。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《新型コロナウイルス感染拡大による生乳需給への影響について》

- ・4/7に政府から7都府県に対して緊急事態宣言が出されたほか、複数の地域で独自の緊急事態宣言が出される中で、外食業界の休業や営業時間の短縮が行われ、業務用の牛乳・乳製品の需要はさらに減少しており、当面は、この状況が続くことが見込まれている。
- ・また、緊急事態宣言の出た都府県を中心に臨時休校が継続されたことから、学乳向け生乳については今後も加工向けに振向けられる見通しである。
- ・なお、以下に示すように、家庭内での牛乳やヨーグルト等の牛乳乳製品の消費は引き続き堅調な状況が続いているが、業務用需要の減少をカバーすることは困難な状況である。
- ・こうした中、北海道の生乳生産量が6月のピークに向けて増加してゆくタイミングも重なり、全体の生乳需給は緩和傾向がさらに強まっており、今後の生乳の需給調整は予断を許さない状況が続くと想定されることから、引き続き業界全体で一致協力した対応を図ってゆく必要がある。

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI】

(1) 直近(本年1月～)の動向(表①参照)

・直近(4/6週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同116.5%、成分調整牛乳：同108.8%、加工乳：同105.5%、乳飲料：同109.1%。

牛乳類では同114.4%と前年を大きく上回って推移している。

※成分調整牛乳は商品終売の影響が一巡、また、加工乳は大手メーカーの新商品の影響が一巡したこと、前年同期比が大きく変動している

・販売単価は、牛乳：189.9円、成分調整牛乳：173.5円、加工乳：184.1円、乳飲料：150.3円。

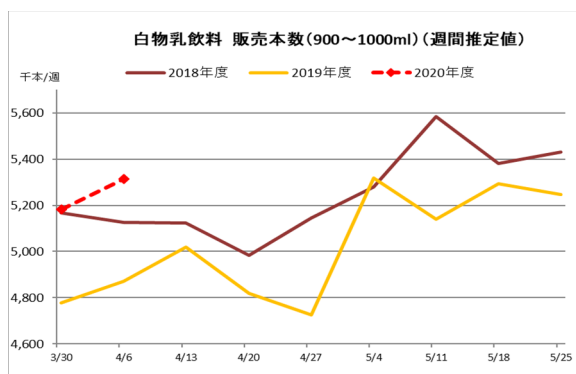
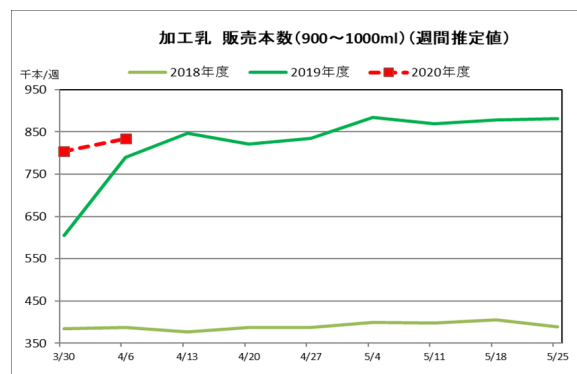
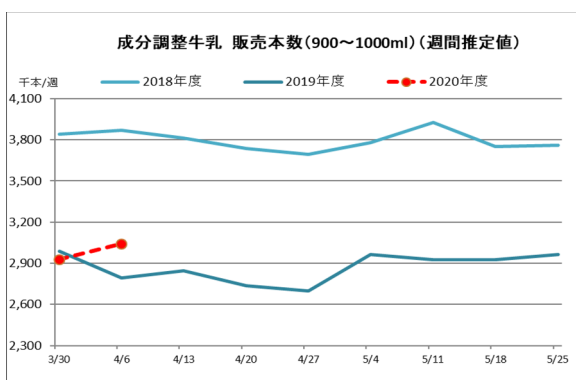
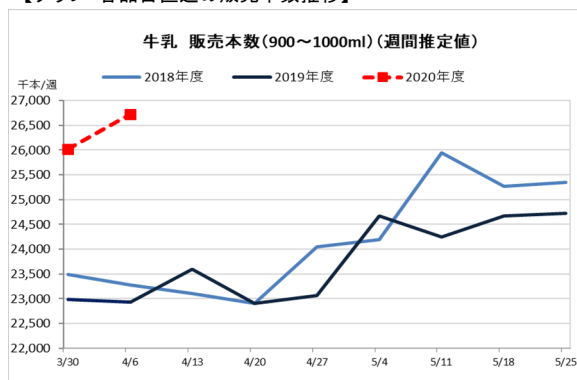
(2) **引き続き、在宅勤務や一部地域での外出自粛・臨時休校の影響によって家庭内需要が増加しており、堅調に推移している。**

※出典 (株)インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。**データ転用はご遠慮下さい。**

【表① 直近の牛乳類の販売動向】※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	区分	1.6-	1.13-	1.20-	1.27-	2.3-	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-	3.16-	3.23-	3.30-	4.6-
		販売個数	30,740	30,915	30,916	30,863	30,432	31,247	30,644	33,774	32,555	33,491	32,590	34,687	34,935
トータル	販売個数前年比	101.8	100.5	102.1	100.7	101.2	100.7	100.8	110.4	106.4	108.3	105.9	110.3	111.4	114.4
	販売単価	181.9	181.4	181.3	181.5	181.5	181.4	181.8	181.4	182.0	181.9	182.0	182.3	181.9	182.5
	販売個数	22,670	22,800	22,782	22,760	22,464	23,070	22,687	24,928	24,150	24,851	24,190	25,793	26,023	26,729
牛乳	販売個数前年比	102.6	101.1	102.7	101.1	101.9	101.3	101.7	111.0	107.8	109.6	106.9	111.5	113.2	116.5
	販売単価	189.6	189.0	188.9	189.1	189.1	189.0	189.3	188.9	189.3	189.3	189.3	189.5	189.1	189.9
	販売個数	2,623	2,595	2,599	2,629	2,546	2,644	2,556	2,861	2,756	2,817	2,756	2,902	2,927	3,040
成分調整牛乳	販売個数前年比	83.9	81.7	82.5	83.1	82.4	82.9	81.6	90.7	86.8	87.4	86.4	89.2	97.9	108.8
	販売単価	172.8	172.8	172.7	172.6	173.0	172.2	173.1	172.6	173.7	173.3	173.4	173.9	173.2	173.5
	販売個数	731	738	729	734	716	734	714	796	755	767	741	805	804	834
加工乳	販売個数前年比	177.9	179.7	180.2	181.0	179.7	176.9	178.2	195.4	183.3	183.9	182.5	190.0	133.0	105.5
	販売単価	183.2	182.5	182.3	181.4	182.1	182.0	182.2	182.8	182.3	182.7	182.8	184.7	184.6	184.1
	販売個数	4,716	4,782	4,806	4,740	4,708	4,800	4,688	5,190	4,894	5,056	4,904	5,187	5,182	5,313
乳飲料	販売個数前年比	103.5	103.2	106.0	103.6	103.7	103.1	102.2	113.6	106.4	109.5	107.6	111.6	108.4	109.1
	販売単価	149.6	149.8	149.6	150.0	150.1	150.1	149.9	150.1	150.3	150.4	150.5	150.8	150.5	150.3
	販売個数	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI】

(1)直近(本年1月~)の動向(表②参照)

直近(4/6週)の販売個数は、ドリンクタイプ(100~250ml):前年同期比120%以上、個食タイプ(70~130ml):同105%以上、大容量タイプ(350~500ml):同110%以上。

(2)機能性ヨーグルトを中心に免疫カアップに対する期待や、外出自粛等の影響と考えられる家庭内需要によって、ドリンクタイプを中心に、引き続き堅調に推移している。

※出典 (株)インテージSRI週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	1.6-	1.13-	1.20-	1.27-	2.3-	2.10-	2.17-	2.24-	3.2-	3.9-	3.16-	3.23-	3.30-	4.6-
ドリンクタイプ	↘	↓	↓	↘	↘	→	↗	↑	↗	↑	↑	↑	↑	↑
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	↗	↘	→	→	→	↗	↗
大容量タイプ	→	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↑	→	↗	↗	↗	↑	↑

↓	:前年比90%未満
↘	:前年比90%以上100%未満
→	:前年比100%以上105%未満
↗	:前年比105%以上110%未満
↑	:前年比110%以上120%未満
↑	:前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※本データの収集・分析は、2020年度生乳需要基盤確保事業を活用し実施しております。

《その他参考情報》

・家庭用バターの消費動向について

外出自粛等による家庭内需要の増加やテレビ番組で取り上げられた効果によって、インテージデータでは直近(3/30週)は前年同期比144.2%と、前週(3/23週)134.1%からさらに増加している。

・新型コロナウイルスに関するQ&Aについて

グローバル・デイリー・プラットフォーム(GDP)がまとめたQ&AをJミルクHPIに掲載しております。

<https://www.j-milk.jp/report/international/h4ogb4000003agj.html>

・新型コロナウイルス感染拡大に係る海外の酪農情勢について

米国の酪農情勢について、JミルクHPIにて報告しております。

<https://www.j-milk.jp/report/international/h4ogb4000003cyg.html>